

2015
Number
091

TAMA UNIVERSITY

Rapport

Contents

フットサル部 地域学生センター	P.02
.....	
教育内容説明会 オープンキャンパス	P.03
.....	
ゼミ祭 ゼミ研究：SRC2015 夏 発表一覧	P.04
.....	
留学生 活動報告	P.05
.....	
キャリアサポート 経営情報学部 後援会総会・教育セミナー	P.06
.....	
News 地域系スタディーアブロード (地域学習)	P.07
.....	
学内サポート 〈FM 室〉	P.08



**地域系スタディーアブロード
地域実習**

2015年8月26日~28日
月山山頂にて



「第11回全日本大学フットサル大会」で3位!! 全国大会初出場での快挙!!

多摩大学フットサル部は、2015年8月21日～23日に函館アリーナで開催された全日本大学フットサル大会で、見事3位に入賞しました。初めて出場した全国大会で、創部4年目にして準決勝まで勝ち進めたのは快挙です。

今後の益々の活躍を期待し、引き続き皆様の応援をお願いいたします。

《第11回全日本大学フットサル大会 試合結果》

- 2015年8月21日(金)
対戦相手：静岡産業大学コレーガ
結果：4-3 勝利 得点者：友利、宮永、木村 × 2
- 2015年8月21日(金)
対戦相手：北九州市立大学シュティアドール
結果：4-3 勝利 得点者：中井、渡辺、米田、三浦
- 2015年8月22日(土)
対戦相手：東北大学フットサル部ディーグッチ
結果：3-0 勝利 得点者：中井、米田、岡
- 2015年8月23日(日) 準決勝
対戦相手：同志社大学フットサルクラブトレボル
結果：2-9 敗戦 得点者：岡、三浦



<http://www.tama.ac.jp/futsal/>

地域学生センター 報告

多摩大学が立地する多摩ニュータウン(面積約2,884ヘクタール)は、多摩市、八王子市、町田市、稲城市の4市で構成される日本最大のニュータウンです。現在、開発から40年余り経ち、建築物の老朽化、住民の高齢化という深刻な問題を抱えています。

そこで、学生の居住を促進することにより、地域(多摩ニュータウン)における課題解決を推進していくことを目的に、多摩大学、住居管理者として多摩市と共に多摩ニュータウンにおける多世代共生の地域づくりを目指す独立行政法人都市再生機構の三者による『学生の居住促進による地域活性化等の推進に係る三者協定』を2015年3月に締結しました。

提携の一環として、多摩大学は地域学生センターを設置し、多摩キャンパスから徒歩12分程度の団地の空室を借り上げ、シェアハウス型学生寮として学生に提供しています。家賃は、月々3万円程度。3人で3DKのルームシェアをしており、各自の個室もあります。また家具類は、大学が用意しています。

現在、地域学生センターには美野 佑弥君(1年生)、青木 耀樹君(2年生)、水口 輝君(3年生)の男子学生3名が共同生活をし、団地や地域のイベントに多数参加することにより、地域を元気にしています。

その一例として、多摩キャンパスから徒歩10分程度にある聖ヶ丘商店街を中心とした聖ヶ丘地区での活動をご紹介します。

■こいのぼり

聖ヶ丘商店街の一大イベント。5月のこどもの日に向けて、地域の方々と一緒に、3人手分けをして、木の上に登り、商店街に隣接した広場に大きなこいのぼりをあげました。多くの地域の家族連れの方々が、5月の空にすこやかに泳ぐこいのぼりを楽しんでいました。

■第31回聖ヶ丘地区 ふるさと夏まつり

8月22日・23日に開催された『第31回聖ヶ丘地区 ふるさと夏まつり』にて、3年生の水口君、1年生の美野君は、2日のメインイベントであるピンゴ大会のMCをつとめ、トークとパフォーマンスで会場を沸かせました。

2年生の青木君は、運営スタッフとして“夏まつり”全体を支えました。

このような活動を体験することにより、

1年生で鹿児島県出身の美野君は、「高校までは、同世代のコミュニティの中にかいかなかったが、地域の人とふれあい、活動することによって、自分の世界が広がり、自信につながった。」

2年生で静岡県出身の青木君、3年生で神奈川県出身の水口君は、「地域イベントの企画・立案・運営に携わることは、将来のキャリアをデザインするうえで必ず役に立つと思う」と感想を述べ、この様子は、NHKをはじめとするマスコミ各社にて「今後、高齢化が加速する日本が抱える問題に立ち向かう大学」として取り上げられました。多摩大学は、こうした取組を通じて、今後とも実社会に活かすことのできる力を備え、問題解決の最前線に立つ「志」人材の育成を目指していきます。



地域の方に
教わりながら
こいのぼりを
あげる入居学生



ふるさと夏祭りのメインイベントのピンゴ大会にて、MCを担当する水口君と美野君

<http://www.tama.ac.jp/student/smis/sharehouse/index.html>

来年度入試に向けて、多摩大学の教育内容を説明

2015年6月19日、多摩キャンパスにて「入学試験・教育内容説明会」が開催されました。毎年、高校・予備校等の教員の皆様を対象に開催し、今年も多摩大学に関心を持つ多くの方々の参加がありました。

始めに久恒啓一副学長（兼）経営情報学部長より多摩大学の紹介と挨拶があり、続いて寺島実郎学長の基調講演、教員によるパネルディスカッション、教育内容・入試についての説明、懇親会では参加者と教職員が歓談し、情報交換などが行われました。

1. 基調講演「時代のニーズ（課題）の産業的解決者を育てる」

寺島実郎 学長

学長自ら主宰するインターゼミの紹介、グローバルシティの意味、リレー講座の開催など地域密着型大学としての役割、時代背景と多摩大学が育成する人材などについて講演しました。



久恒啓一副学長(兼)経営情報学部長による挨拶



寺島実郎学長の講演



教育事例の紹介



懇親会の様子

2. 教育事例紹介「アクティブ・ラーニングの実践と課題」

多摩大学アクティブ・ラーニングチーム

中村その子教授、梅澤佳子教授、中庭光彦教授、奥山雅之准教授、志賀敏宏教授による事例報告と質疑応答が行われました。

3. 教育内容・入試説明

【学部紹介】小林英夫 経営情報学部入試委員長とウィリアム シャング（安田震一）グローバルスタディーズ学部長により、それぞれの学部の特徴、教育内容、カリキュラム、人材育成、就職状況などについて説明がありました。

【入試説明】小林英夫 経営情報学部入試委員長から、「志」AO入試・推薦入試・一般入試（2学部統一）について説明がありました。

4. 個別相談、懇親会

個別相談会および学食にて懇親会が行われました。

在学生との交流や模擬授業体験などで多摩大学を紹介

高校生や保護者の方々に多摩大学をより知ってもらうために、経営情報学部とグローバルスタディーズ学部では、同日にオープンキャンパスが開催されています。

学部・入試説明会や保護者説明会、個別相談、実際の授業を体験できる模擬授業、学食体験、在学生が学内の施設を案内するキャンパスツアーなどが行われ、特設コーナーでは授業やキャンパスライフなどについて教員や在学生と直接話すことができます。また両学部ではそれぞれ独自のスペシャルプログラムを開催するな

ど盛りだくさんの内容となっています。

2015年7月26日、経営情報学部では、スペシャルプログラム「サンリオピューロランドで多摩大生と一緒にゼミ体験」が開催されました。高校生はゼミ生の案内で、サンリオピューロランドのアトラクション体験やショップなどの施設見学を楽しみました。その後多摩キャンパスに移動し、模擬授業「みんなで夏のイベントを考えよう」を体験しました。教室では、高校生たちがゼミ生と積極的に議論し発表するなど活気にあふれた授業が行われました。



サンリオピューロランドを体験



学食体験



サンリオゼミ模擬授業



キャンパスツアー



酒井麻衣子先生の模擬ゼミ



アドミッションスピーチ



個別相談



在学生との交流

ゼミ祭 ゼミ研究: SRC (Student Research Conference) 2015 夏 発表一覧

2015年7月11日、多摩キャンパスにて「ゼミ祭」が開催されました。第1部はホームゼミ説明会が行われ、また学内の各所にはゼミ紹介ブースが設けられました。第2部は4会場でゼミ研究発表会（SRC）が開催されました。

SRCは、経営情報学部の学生がゼミの研究成果などの発表を行う場で、年2回開かれています。ゼミの枠を超えて教員や学生が多数出席し、質疑応答では熱心な質問やアドバイスがあり、日頃の研究活動について切磋琢磨できる貴重な機会となっています。

〈発表合計〉29件 次回開催予定 2015年12月12日（土）

<http://iis.edu.tama.ac.jp/src/>

101 教室	
楠本 和哉	日本の観光資源の価値
長門 有紗	ディズニー魅力度調査
織田 直樹	卒業研究中間報告 「日本の宿泊施設のおもてなし」
高森 翔太	1年生のゼミ選択行動調査
内藤勇之助	多摩地区の滞在時間分析
橋本 祥希	卒業研究中間報告 「憩いの場として地域の拠点となる公園の一考察」
石井 湧大	卒業研究中間発表 「スポーツ指導者に資格はあるのかー保護者がこどものスクールを選択する基準についてー」
201 教室	
扇谷 直哉	Our New Flavor for 2016
三好 瑛大	琉球国と東アジア交流
山崎 啓道	地域再生の成功の方程式
豆生田 泰樹	中小企業のアジア新興国戦略 ーハイエンド市場を攻め、脱下請けを狙うー
小山 明信	ニュータウン 2.0
柏木 英夫	訪日リピーター客を増やす ～ SNS を利用して日本の文化を発信～
小島 拓弥	卒業研究中間発表 「外国人観光客向け案内表示の問題解決 ー東京の地下鉄の事例研究ー」
前田 佑樹	統計グラフポスター制作

211 教室	
尾張 拓也	懐かしさの心理学
中山 修平	顔の印象の要因分析
宇野 裕介	変身体験システム「Real Metamorphose」
Yohann Ferme	Study on Future Playground / 未来遊園地の研究
Vincent MARQUET	Computer Vision applied to Table Tennis
Romain PHILIPPE	Quantum Space Simulator
永野 文弥	擬似加速感に関する実証研究
212 教室	
池田 周平	ギャンブルをやめられない人間
田口 瑤子	自信度と性格の関係性
芝 亮祐	卒業研究中間発表 「音楽ゲームの持つコミュニケーションの力」
黒柳 淑雅	異性に対する見方
平井 高大	2013年にベースボール統一球は変わったのか？
高橋 昌典	女子のプロ野球ファン増加の理由
奥村亜瑞美	スポーツ(サッカー)人気を定着させるためには 何が必要か

ゼミ紹介ブース



ゼミ研究発表会 (SRC)



彩藤ひろみゼミ

多摩大で過ごした 4 ヶ月

Watashiwa Yohann Ferme desu, I come from France from a city named Laval where I did study 3DCG Real time. I'm really glad that I had the opportunity to realize my internship in Tama University under Saito Sensei direction. I spent four months working with Saito Sensei and the seminar students and also with other students following Saito Sensei movie and motion classes.

My main project during those four months was to elaborate a virtual roller coaster using HMD (head mounted display) and Unreal engine. Beside I created a short funny movie about Kawaii issue between a mixed culture couple. Thanks to Saito Sensei who introduced me to many companies for me to create connections and have a chance to come back in Japan and work there in the near future.

I really enjoyed my life in Tama University oppositely as French university it seem that Japanese university is like a big family, students and university staffs were very kind to me and helped me a lot to feel comfortable and this despite the language problem.

It was not my first time in Japan but this time I learned a lot about Japanese way of seeing company as family, and even if it seems Japan is the country where people are working the most and got very few day off and lot of pressure I discovered behind this very coded society sometime strict, a great kindness over the employees, solidarity and good atmosphere of working.

In Japan people were always kind to me, and forgiving about my French manner, which sometimes doesn't fit Japanese culture. So I want to thanks all those nice and generous people I have met during this internship I've learned a lot from them. It was a real pleasure to work and share daily life here in Tama University. I want particularly thanks Saito Sensei, Idehara Sensei, Terayama san, and my seminars class mates and friends ! Looking forward to visit you soon !
どうもありがとうございました

私はヨアン フェルムです。フランスのラバル市で 3DCG を学ぶ大学から海外インターンシップで多摩大にきました。彩藤ゼミといくつかの授業で 4 ヶ月過ごしました。

主なプロジェクトはヘッドマウントディスプレイを使ったバーチャルジェットコースター世界を作ることでした。一方で授業(クリエイティブデザイン I)では「かわいい」をテーマに映像制作もしました。また多くの 3DCG 系の企業説明会にも行きました。

日本の大学はまるで大きな家族のようです。学生も事務局の方々も大変親切で、言葉の壁も乗り越えて、私が快適に過ごせるよう助けてくれました。

日本に来たのは初めてではなかったですが、今回は日本人があまり休日もとらずによく働くのは、家族のような企業の雰囲気があるからだ気が付きました。

日本では皆さんとても親切でした。時には日本の文化とあわないフランスのマナーも許してくれました。インターンシップ中に出会ったすべての方にありがとうございました。多摩大での日々は本当に楽しかったです。特に、彩藤先生、出原先生、事務局の寺山さん、ゼミのクラスメイトたち、友人たちに感謝します。近いうちに再会できますように。どうもありがとうございました。



Yohann Ferme さんのお別れ会



インターンシップ中の作品(アリスの世界)

出原至道ゼミ

Vincent MARQUET

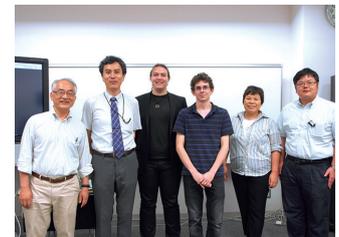
As a foreign internship student, working in Tama University was a great learning experience. The Virtual Reality Laboratory offers students a lot of liberty about the choice of the subject of their work, which allows them to work on subjects that really matter to them and lead them to give the best of themselves. Furthermore, the students of the laboratory make a friendly group that make work really enjoyable. For foreigners, this is an excellent occasion to broaden his mind by meeting and working with people from a different culture. The proximity of Tokyo is also a great advantage.

海外インターンシップの学生として、多摩大学での研究経験は素晴らしいものでした。研究室では、学生が研究テーマを自由に選ぶことができ、それによって自分が本当に興味のあるものに取り組んで努力できるようになっています。さらに、研究室の学生は親しみやすいグループで、作業が本当に楽しくできました。外国の学生にとって、異なる文化の人々に出会って一緒に作業することは、意識を広げる素晴らしい機会です。また、都心に近いくとも大きな魅力でした。

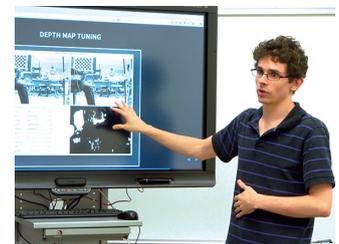
Romain PHILIPPE

Even if we have to write something about our stay, there are too many things to say and most of them do not have any interest for the people who will read this. We could say that we are really thankful to those who helped us during our stay, because we think it. However, only this won't let us leave anything in this academy. So, instead of this, instead of writing about the past, I will write about the future. Next year, I am sure that new students will come from the ESIEA. So this is what I think I should write here : please, take good care of the next student, our junior, as well as you have taken care of us this past four months.

私たちの滞在について何か書くとしても、全部書くにはあまりにも多くのことがあり、しかもそのほとんどは今これを読んでいらっしゃる方々にはあまり面白くないだろうと思います。滞在中、多くの方々にお世話になりました。心からお礼申し上げます。このスペースだけでは、皆様に伝えきれません。そこで、過去について語る代わりに、未来のことを書きます。来年もまた、新しい学生が ESIEA からやってくるでしょう。私たちが 4 か月間お世話いただいたように、来年の後輩の学生たちをよろしくお願い申し上げます。



最終成果発表会 (viva)



Vincent MARQUET さんの発表



Romain PHILIPPE さんの発表

全員参加の手づくり教育・キャリア支援

経営情報学部教授 就職委員長 梅澤 佳子

後援会主催「就職セミナー」(9月19日開催)には、多くのご父母・学生にご出席いただき、誠にありがとうございました。「学生・ご家庭・教職員、全員参加の手づくり教育による「就勝」という本学独自のキャリア支援体制についてお伝えする機会を与えて頂きましたことに深く感謝を申し上げます。

本学の特徴は、第一に、寺島実郎学長自らが独自のネットワークでインターンシップ、就職先の開拓に尽力していることです。第二に、キャリア支援専門職員と豊かな企業経験、起業・会社経営の経験、企業とのネットワークを持つ教授陣が学長の采配のもとで一丸となって学生と向き合い教育・支援していることです。そして第三に、教務(カリキュラム)担当とキャリア支援担当が合同で、学生たちの将来を見据え、これからのキャリアデザイン、ライフデザインに必要な教育内容を検討し展開していることです。我々教職員は、常に物事の本質に立ち返りながらも、スピード感をもって学生の教育サービスに当たるよう努めております。

「全員参加の手づくり教育」は、過保護、子ども扱いするものではありません。学生の主体性を尊重し、自立した社会人、時代の課題に向き合う人材育成を目指すものです。グローバル化、ICTの発達、企業の人事採用に関する考え方や方法に大きな変化をもたらしています。学生たちの生活・社会環境は、親世代とは全く異なるものです。社会人としての第一歩を自信と確信を持ってスタートできるよう、最善の教育・キャリア支援体制づくりを今後も進めてまいりますので、「全員参加の手づくり教育による「就勝」」にご参加・ご協力いただけますようお願い申し上げます。

次回の後援会主催「就職セミナー」は、2016年2月28日(日)13時より開催します。ご出席を心よりお待ちしております。



就職活動を支援する「多摩大学オリジナルキャリアハンドブック 2016」を配布

キャリア支援課係長 三串 豊

今年度も多摩大生の就職活動支援のため、「TAMA UNIVERSITY CAREER HANDBOOK 2016 (多摩大学キャリアハンドブック 2016)」を作成しました。このハンドブックには就職活動を始めるに当たった準備から自己分析の進め方やエントリーシート・履歴書の作成ポイント、求人票の検索の仕方や見方、面接試験で気をつけるべきことといった就職活動に必要な事柄や進め方の注意点を具体的に解説しています。ハンドブックに沿って準備を行うことで就職活動をスムーズに行う助けになります。

また、就職活動では複数の企業の選考スケジュールが同時期に行われるため、スケジュール管理が非常に重要となります。ハンドブックには配布の3年生秋学期から卒業までのカレンダーをつけてありますので就職活動の予定や学事予定を記入して管理できます。先輩の就職先一覧なども掲載していますので、企業選択の参考にさせていただきたいと思います。



経営情報学部 後援会総会・教育セミナー 報告

2015年6月28日、多摩キャンパスにて「経営情報学部後援会総会・教育セミナー」が開催されました。当日は後援会総会と併せて、学内施設の見学ツアー、教育セミナー(経営情報学部の教育方針と内容、ゼミ別懇談会)が行われ、多くの保護者の皆様の参加がありました。

○後援会総会

後援会会長の米倉裕様の挨拶に始まり、議長は梅澤佳子教授が務め、第1号議案(2014年度事業報告(案)及び2014年度決算報告(案))、第2号議案(2015年度事業計画(案)及び2015年度予算(案)について)、第3号議案(2015年度後援会役員選任(案))について審議され、いずれも承認されました。

○第1部 教育セミナー

久恒啓一副学長(兼)経営情報学部長より、多摩大学の学びの方針であるアクティブ・ラーニング(学生が主体的に問題を発見し解を見出していく能動的学修)を中心とした教育方針について説明がありました。また経営情報学部の取り組みについて、教務委員会からは金子邦博教授が「現代の志塾」で育成していく「多摩グローバル人材像」と教育方針などについて、学生委員会からは大森拓哉教授が日常生活や学内外の支援、経済的支援、課外活動などについて、国際交流委員会からは中村その子教授が海外研修、インターンシップ、大学生との交流や国際会議への参加などの海外活動体験や国際交流について、就職委員会からは梅澤佳子教授が就職活動状況、就職セミナーのご案内などについて、各委員から説明と報告がありました。

○第2部 ゼミ懇談会

ゼミ別に各教室に移動し、保護者の方々とゼミ担当教員が大学やご家庭における学生の生活や就職活動などについて懇談、教職員との個別相談会も実施されるなど有意義な時間となりました。



後援会定期総会の様子



学内施設見学ツアー



教育セミナーの様子



保護者の方とゼミ担当教員が懇談

第14回日本国際文化学会 全国大会にて、寺島実郎学長の基調講演

2015年7月4日・5日に第14回日本国際文化学会の全国大会を多摩大学湘南キャンパスにて開催いたしました。

寺島実郎学長が『観光立国への戦略的視座』と題して、2014年の訪日外客数が1341万人、前年比で3割増となっており、その大半を占めるアジア、大中華圏との相関、アジアダイナミズムの重要性をどのように捉えるか、観光立国として3000万人の訪日外客数をめざす日本は、どのようにして観光の“質”を上げ、観光立国として向き合うのか、また、人材育成を担う大学が今後の日本の観光産業の発展にどう関わるかということについて基調講演を行いました。

グローバルスタディーズ学部長 ウィリアム シヤング（安田震一）教授が本大会の実行委員長を務め、パネルディスカッションでは、グローバルスタディーズ学部の太田哲准教授、自由論題では、グローバルスタディーズ学部のブライアン・イングリッシュ教授、堂下恵准教授、田中孝枝専任講師がそれぞれ発表しました。

今回の学会を通じて、多摩大学の観光学という分野での存在をアピールするとともに、参加学生の視野を広め、教員の専門分野を更に深化させるよい機会になりました。



寺島実郎学長による基調講演

〈無料公開講座〉大学院×経営情報学部 問題解決学セミナー@品川

経営情報学部34名の教授陣が3年間かけて研究した「問題解決学」を初披露。各専門分野の立場から「問題の発見と解決の方法」を伝授します。

【詳細・事前申込み】http://www.tama.ac.jp/problem_solving/index.html

〈公開講座スケジュール〉（全日共通 19:00～20:30）

終了	6/8（月）「経営行動科学と問題解決」	小林 英夫 准教授
終了	7/6（月）「現代スポーツの行方」	杉田 文章 教授
終了	8/3（月）「テレビCMの変革と進化」	中村 その子 教授
	11/12（木）「急がば回れー組織のイノベーションと人材育成ー」	趙 佑鎮 教授
	11/26（木）「顧客価値最大化を志向する『行政経営』を目指して」	金子 邦博 教授
	12/10（木）「製造業のサービス・マネジメント」	奥山 雅之 准教授
	1/21（木）「地方再生のための政策構想力」	中庭 光彦 教授

多摩市クールシェアに参加

多摩大学は多摩市環境政策課の依頼により、2015年度夏クールシェアに参加しました。

多摩キャンパスT-Studio 2階にて、8月17日から2週間、多摩大学教員による講座などを録画放映し、連日多くの地域の方に参加して頂くことができました。

『クールシェアとは』

夏の暑い日、家の電気の半分以上をエアコンが使っています。そこでひとり一台のエアコンをやめ、涼しい場所をみんなでシェアするのがCOOL SHAREです。この活動は、環境省が推進している、地球温暖化防止の取組です。

地域系スタディーアブロード（地域実習）報告

教務課係長 公平 正一

2015年8月26日～28日の2泊3日のスケジュールで、山形県鶴岡市にて地域実習を行ってきました。実習場所は、同市内にある「出羽三山」。近年パワースポットで有名になった「月山」を主峰に「湯殿山」「羽黒山」と3つの山のふもとにある「羽黒町」です。

参加者は、学生22名（1年次生～3年次生）、教職員5名の計27名。実習の目的は、「山を通して日本文化を学ぶ」をテーマに、出羽三山を通じて、日本人の自然とのかかわり、そこから生まれた生活文化について学ぶことです。

出羽三山は、開山約1,400年の歴史を持つ山岳信仰により独自の修験文化を築きました。現在においても山伏の修行の場として、また、観光地として賑わいをみせている場所です。これらを理解すべく、初日、2日目と山伏修行体験を行いました。日常から離れて修行の一端を体験することで、出羽三山の自然、そして修験道を身体で学びました。指導は、山伏の星野文紘氏。宿泊先「大聖坊」の主でもあります。また、夜は星野氏、鶴岡市羽黒町観光協会の佐藤氏の講義もあり、修験道、鶴岡市の観光誘客活動への理解を深めました。3日目は、各教員のテーマでグループ討議を行い、本実習を終えました。



宿泊先「大聖坊」にて

小豆島セミナーハウス

多摩大学では、2015年度より小豆島ヘルシーランド株式会社と包括協定を結び、その一環として同社が所有する施設をセミナーハウスとして使用することが可能になりました。多摩大学の学部生（教員同伴）、院生、教職員の方は、ゼミ・サークル・個人の合宿・研修等にぜひ利用してください。※詳細は、多摩大学ホームページを参照して下さい。<http://www.tama.ac.jp/student/seminarhouse.html>

- 【最大収容人数】36人 洋室（2人）2部屋、和室（4人）8部屋
- 【施設】○食堂（セミナー室）：1室 ○リラックスルーム ○談話室：1室
- 浴室 ○洗濯ルーム ○バーベキューテラス、ピザ窯（4月～10月まで使用可）
- 【貸出物品】○プロジェクター ○スクリーン ○洗濯機 ○乾燥機 ○入浴品
- ドライヤー ○調理器具一式 【Wi-Fi】使用可
- 【周辺レジャー施設】○テニスコート ○サッカー場等 ○海水浴場

【申込み・問い合わせ】多摩大学 学長室事務課 hisho@gr.tama.ac.jp



学内
サポート

FM 室 (清掃・設備・守衛)

サンリツテクノス株式会社

Thanks for your support



清掃、施設管理などで大学をサポート

サンリツテクノス株式会社の主な業務内容は、設備管理、保守、清掃などです。多摩キャンパスでは清掃、設備点検、施設管理などの業務を請け負い、学生が安全で快適な大学生活を過ごせるよう日々サポートしてくれています。今回は多摩大サポーターとして清掃の現場で働くスタッフと業務部所長の栗原勉さんにお話を聞きました。

学内施設を熟知したお掃除のプロ

多摩キャンパスの教室や事務室、トイレ、階段、廊下など学内のあらゆる施設は、8名(女性5名、男性3名)のお掃除のプロにより清掃作業が行われています。スタッフの勤務時間は平日が午前8時～午後3時までの6時間、土曜日は午前8時～11時まで、休みは日曜と祝日、夏休みなど大学の長期休暇期間中は3～5名体制の3時間勤務です。

多摩キャンパスは景色が良く、晴れた日に見える富士山も張り合いの一つ。学内施設は隅から隅まで熟知しているので、段取りや手際良く行き届いた清掃ができるそうです。心掛けていることは、楽しく仕事をするのと体調管理。「おはよう」と挨拶してくれる多摩大生の印象は「やさしくて、かわいい」。

気持ち良く生活するためにも、「きれいに使ってほしい」という願いもありました。

施設管理の仕事は縁の下の力持ち

施設や設備の管理業務として、駐車管理、植栽の草取り、ポンプ室・換気扇・エアコンなど機器の点検、水漏れ対応・蛍光灯の交換などの修理・営繕、守衛業務として警報への対応、学生寮の見回りなど多岐にわたります。栗原さんは統括する立場として、出勤表や大学点検予定のスケジュールなどの事務処理も担当し、多摩大勤務は8年目になります。勤務時間は午前7時30分～午後9時30分、365日を3名で交代する勤務体制なので、休日は月7～8日になるそうです。仕事にやりがいを感じるのは、自分で修理して直ったとき、困るのは建物の劣化による機器の故障など根本的に修理不可能な事態に直面したとき。修理依頼にはできる限り対処しようと心掛けているそうです。存在は決して目立たせず、「縁の下の力持ち」として力強く多摩大を支えてくれるサポーターです。



栗原 勉さん

お知らせ

【メールマガジン登録のご案内】

平素、多摩大学の教育活動に多大なご理解とご協力を賜り、改めて心より深く御礼申し上げます。

多摩大学は産業社会の最前線で問題解決できる人材を育成すべく、セミナーを中心にアクティブラーニングを軸とした教育と就職支援を行ってまいりました。このたび、保護者の皆様宛に就職活動とその周辺状況等についてお知らせするメールマガジンの仕組みをご提案させていただくこととなりました。

お送りする情報といたしましては、以下の項目になります。

- ◆ 多摩大学学生の就職活動状況の現状(内定率、内定先企業の状況など)
- ◆ 学内合同企業説明会などの就活イベントの情報
- ◆ 2、3年生のインターンシップやキャリア支援講座などのプログラムのお知らせ

- ◆ 企業の採用状況、日本全体の大学生の内定取得状況などの世の中の就職をめぐる全体状況

- ◆ 公開講座情報等

- ◆ その他大学のイベント情報

つきましては、このメールマガジンの趣旨にぜひご賛同いただき、大学からのメッセージをお受け取り頂く為にメールマガジンへの登録の程、どうかよろしくご願ひ申し上げます。

多摩大学 学長室長 杉田 文章

○登録方法

経営情報学部 後援会

<http://www.tama.ac.jp/student/smis/smis-kouenkai/>

経営情報学部 後援会

検索



【学園祭のご案内】

経営情報学部 第27回 多摩祭

多摩キャンパス 2015年10月17日(土)・18日(日)

テーマ: レポリューション

グローバルスタディーズ学部 第9回 SGS FESTA

湘南キャンパス 2015年11月7日(土)・8日(日)

テーマ: Colors ~十人十色のおもてなし~

多摩地域の情報発信拠点

多摩大学 "T-Studio"



T-Studio 2F 収録スタジオ

昨年、創立25周年を機に多摩キャンパスに建設した新しいファシリティ「T-Studio」には、2つの目的があります。ひとつは学生のアメニティの向上、そしてもうひとつは地域の情報発信拠点としての役割です。

多摩地域の課題解決に貢献する情報をT-Studioの2階に設置した収録スタジオからインターネットを通じて発信します。本格的なインターネット放送に向けて調整を進めています。(多摩大学 学長室)